

带状疱疹ワクチン説明書

～予防接種に欠かせない情報です 必ずお読みください～

带状疱疹ワクチンは、接種医と相談の上、希望する方がご自身の判断で接種する任意予防接種です。町では、令和5年5月から带状疱疹ワクチンの費用助成を開始しました。接種を希望される方は、説明書をよく読み、ワクチンの有効性とリスク等を十分理解した上で、接種しましょう。

1. ワクチンの対象者

接種日時点でときがわ町に住所のある、50歳以上の方 ※過去に町からの助成を受けた方は除く

2. ワクチンの種類および接種間隔

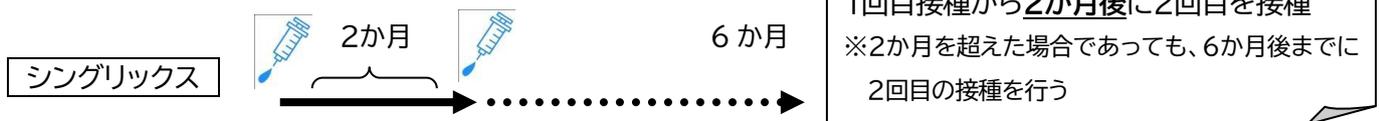
現在、带状疱疹の予防として使用されるワクチンは2種類あり、助成はどちらか一方となります。

《それぞれのワクチンの特徴》

名称	乾燥組換え带状疱疹ワクチン (シングリックス)	乾燥弱毒生水痘ワクチン (ビケン)
種類	不活化ワクチン	生ワクチン
接種方法	筋肉内注射	皮下注射
接種回数	2回	1回

水痘ワクチン(ビケン)は、他の生ワクチンを接種する予定がある場合、27日以上あける必要があります。

《接種間隔》



《ワクチンの効果について》 ※一般社団法人 日本ワクチン産業協会「予防接種に関するQ&A」より

○乾燥組換え带状疱疹ワクチン(シングリックス)

50歳以上と70歳以上の被験者(日本人を含む)を対象として行った国際共同第Ⅲ相臨床試験の結果、带状疱疹に対する有効性は、50歳以上で97.2%、70歳以上で89.8%と、いずれの年齢層においても優れた予防効果を示しました。免疫の持続期間は接種後約10年程度とされています。

○乾燥弱毒生水痘ワクチン(ビケン)

高齢者に接種した場合、50～60歳代で約90%、70歳代で約85%にVZV(水痘带状疱疹ウイルス)に対する細胞性免疫※が上昇したとの報告があります。米国の乾燥組換え带状疱疹ワクチンの臨床試験においては、50～60歳で69.8%の発症予防効果が認められました。免疫の持続期間は、接種後約5年程度とされています。

3. 予防接種を受けることができない方

＜ワクチン共通＞

- ① 明らかに発熱している方(通常は37.5℃を超える場合)
- ② 重い急性疾患にかかっている方
- ③ ワクチンの成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある方
- ④ その他、かかりつけの医師に予防接種を受けないほうがよいと言われた方

＜乾燥弱毒生水痘ワクチン(ビケン)のみ＞

- ⑤ 妊娠していることが明らかな方
- ⑥ 明らかに免疫機能に異常がある疾患がある方、免疫抑制をきたす治療を受けている方
※副腎皮質ステロイド剤(プレドニゾロン等)、免疫抑制剤(シクロスポリン等)を服用している方の場合、接種上の使用禁忌剤のため接種できません。

4. 次の方は接種前に医師にご相談ください

<ワクチン共通>

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある方
- ② 過去に予防接種で接種後 2 日以内に発熱のみられた方や全身性の発疹などアレルギーが疑われる症状が出たことがある方
- ③ 過去にけいれん(ひきつけ)をおこしたことがある方
- ④ 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方、もしくは近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑤ ワクチンの成分に対してアレルギーを起こす可能性がある方

(乾燥弱毒生水痘ワクチン(ビケン)のみ)

- ⑥ 輸血またはガンマグロブリン製剤の投与を受けた方

(乾燥組換え帯状疱疹ワクチン(シングリックス)のみ)

- ⑦ 血小板減少症や凝固障害がある方、抗凝固療法を受けている方
- ⑧ 妊娠している方、妊娠の可能性のある方、授乳中の方

5. 接種後の注意

<ワクチン共通>

- ① 接種後に、重いアレルギー症状が起こることがあるので、接種後はすぐに帰宅せず、少なくとも 30 分間は安静にしてください。
- ② 接種当日は、激しい運動は避け、接種部位を清潔に保ってください。
- ③ 接種後に体調不良がある場合は、医師の診察を受けるようにしましょう。

(乾燥組換え帯状疱疹ワクチン(シングリックス)のみ)

- ④ 接種直後や接種後に、血管迷走神経反射としてめまいやふらつき、失神があらわれることがあります。背もたれのあるイスに座るなどして、失神による転倒に注意しましょう。

6. 主な副反応について

○乾燥組換え帯状疱疹ワクチン(シングリックス)

国際共同第Ⅲ相臨床試験より、ワクチン接種後7日間に起こった主な副反応

注射部位 (割合)	痛み (78.0%)	赤み (38.1%)	腫れ (25.9%)
注射部位以外 (割合)	筋肉痛 (40.0%)	疲労 (38.9%)	頭痛 (32.6%)

非常にまれにショックやアナフィラキシー等、重篤な副反応が起こる場合があります。

○乾燥弱毒生水痘ワクチン(ビケン)

帯状疱疹予防を目的とした対象(50 歳以上健康成人)における国内臨床試験より

注射部位 (割合)	赤み (44.0%)	かゆみ (27.4%)	熱感 (18.5%)
	腫れ(17.0%)	痛み(14.7%)	硬結(13.5%)
注射部位以外(割合)	倦怠感 (1.5%)	発疹 (1.5%)	

非常にまれにアナフィラキシーや血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎等、重篤な副反応が起こる場合があります。

<任意予防接種における健康被害救済制度について>

任意予防接種による健康被害が生じた場合は、予防接種法による救済の対象になりません。

万が一、予防接種の副反応によって健康被害が発生した場合は、医薬品副作用被害救済制度により治療費等が支給される場合があります。詳しくは独立行政法人医薬品医療機器総合機構のホームページをご覧ください。

ホームページ:<https://www.pmda.go.jp/>

お問い合わせ先:独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 救済制度相談窓口

電話:0120-149-931(フリーダイヤル)

受付時間:午前9時~午後5時(月~金/年末年始・祝祭日除く)



帯状疱疹ワクチン費用助成に関するお問い合わせ ときがわ町保健センター ☎65-1010